

社会人基礎力

#1 人生100年時代を生き抜く力 社会人基礎力の重要性

「社会人基礎力」って何？

「社会人基礎力」とは

- 経済産業省が2006年から提唱する概念で、
- **主体性**や**コミュニケーション能力**など、
- 「職場で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的能力」

すなわち、

社会で活躍するために必要な基礎的能力

のことを言います。

さらに言い換えるならば、

社会で生き抜く力

と言ってもいいでしょう。

「3つの能力と12の能力要素」



○ 前に踏み出す力

- 主体性・・・（物事に進んで取り組む力）
- 働きかけ力・・・（他人に働きかけ巻き込む力）
- 実行力・・・（目的を設定し確実に行動する力）



○ 考え抜く力

- 課題発見力・・・（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
- 計画力・・・（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力）
- 創造力・・・（新しい価値を生み出す力）



○ チームで働く力

- 発信力・・・（自分の意見を解かりやすく伝える力）
- 傾聴力・・・（相手の意見を丁寧に聴く力）
- 柔軟性・・・（意見の違いや立場の違いを理解する力）
- 状況把握力・・・（周囲の人々や物事の関係性を理解する力）
- 規律性・・・（社会のルールや人との約束を守る力）
- ストレスコントロール力・・・（ストレスの発生源に対応する力）

前に踏み出す力

Action



**一歩前に踏み出し、
失敗しても粘り強く取り組む力**

主体性 . . . (物事に進んで取り組む力)

働きかけ力 . . . (他人に働きかけ巻き込む力)

実行力 . . . (目的を設定し確実に行動する力)

考え抜く力 Thinking



疑問を持ち、考え抜く力

- 課題発見力 . . . (現状を分析し目的や課題を明らかにする力)
- 計画力 . . . (課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力)
- 創造力 . . . (新しい価値を生み出す力)

チームで働く力 Teamwork



**多様な人々とともに、
目標に向かって協力する力**

- 発信力** . . . (自分の意見を解かりやすく伝える力)
- 傾聴力** . . . (相手の意見を丁寧に聴く力)
- 柔軟性** . . . (意見の違いや立場の違いを理解する力)
- 状況把握力** . . . (周囲の人々や物事の関係性を理解する力)
- 規律性** . . . (社会のルールや人との約束を守る力)
- ストレスコントロール力** . . . (ストレスの発生源に対応する力)

「人生100年時代構想会議」における社会人基礎力

- 2017年9月、安倍首相を議長として「人生100年時代構想会議」が発足しました

メンバーは、

議長代理に茂木敏光**人づくり革命担当大臣**、副議長に林芳正**文部科学大臣**、加藤勝信**厚生労働大臣**、議員には、麻生太郎**副総理**、菅義偉**官房長官**、世耕弘成**経済産業大臣**、民間からは榊原定征**日本経済団体連合会会長**、高橋進**日本総合研究所理事長**など、政界や財界を代表する著名人の方々です（メンバーおよび肩書は発足当時）

同会議では、「社会人基礎力」の課題として、

大学教育、新入社員研修など、限られた年代での活用が中心となっているが、

人生100年時代に対応するための資質・能力として全ての年代が意識すべき

ではないかと提議しています

（第4回WG議論より）

それでは、
次回から社会人基礎力とは

具体的にどんなモノの見方や考え方、

発揮すべき職場での行動は何なのか

「12の能力要素」一つひとつについて
考えて行きたいと思います